

# 幻視の表現者

主催：町立久万美術館、久万高原町、愛媛新聞社、愛媛CATV、顕神の夢展実行委員会  
助成：一般財団法人地域創造

# 顕神の夢

*Yearning for Visions*

作品：中国孔二《無題》(2014年)、個人蔵【部分】©Koji Nakazono, Nakazono Family Courtesy of Tomio Koyama Gallery

From Kunita Murayama and Shoji Sekine to Present Times  
村山槐多、関根正二から現代まで

入館は16時30分まで 休館日：月曜日、11月24日[金]  
前売券480円、一般800(500)円、高天生800(480)円、小中生400(300)円  
※売券は9月下旬より県内プレイガイド等で販売開始※(内は20名以上の団体料金、高齢者65歳以上)障害者手帳提示の割引料金、身体障害者手帳提示の付添い1名も(額)割引  
※展覧会前期(10月21日)・11月26日(日)を鑑いたいた方は、同チケットで後期展示も観覧可

後援：NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、FM愛媛、高知新聞社、RCC高知放送、愛媛県、愛媛県教育委員会、松山市、松山市教育委員会、久万高原町教育委員会  
開館時間 9時30分〜17時

会期中大幅な展示替えあり

前期：10月21日[土]→11月26日[日]  
後期：11月28日[火]→12月24日[日]

Kuma Museum of Art  
町立久万美術館  
〒791-0205 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生 釜掛地1-4-27 電話0892-711-2881  
FAX 0892-711-654 E-MAIL <https://www.kumamuseum.jp/stc/muse/>

KMA Kuma Museum of Art

2023.10.21(土) — 12.24(日)  
October 21 — December 24, 2023 open 9:30 close 17:00 (admission until 16:30) closed: Mondays and November 24

監修：鎌田東二(京都大学名誉教授)



# 顕神の夢

## 幻視の表現者

### 村山槐多 関根正一

#### From Kaita Murayama and Shoji Sekine to Present Times

# から現代まで

Learning for Visions

【非合理的で直接的な経験が表現者にとってかけがえのないモチベーションとなることがあります。それはある種の宗教的な体験に似ていますが、宗教以前のものであり、宗教のもととなる出来事とも解釈できます。】  
 【表現者たちは、訪れたヴィジョンをたよりに、自己を超えた名状し難い「何か」を捉えるべく身を焦がす思いで制作します。「何か」へのあこがれや思慕は、漠とした信仰心の発露ともいえます。しかし、描けば描くほど、作れば作るほど、その「何か」は、表現者の手からすり抜け別ものとなり替わってしまいます。そのため、彼らは向こうから「何か」がやってくるのを待つしかありません。本展ではこのような心情を仮に「顕神の夢」と名付けてみました。】  
 【ときとして土俗的な印象を与える作品が出来ますが、それは、近代化により捨象されず根強く残った心情の証しです。このような作品は既存の尺度では、測りえないものです。かといって、排除するわけにはいきません。現に作品は凄まじい力をもって迫ってきます。ならば、私たちは、作品にふさわしい尺度を学び、鍛えなければなりません。尺度がそぐえば作品は豊かな世界を開示してくれます。また、このような観点から、いわゆるモダニズムの文脈でのみ解釈されていた作品を読み直すことも可能です。優れた作品はすべからず不可知の領域に根ざしていると思われまふ。】  
 【本展は、今までモダニズムの尺度により零れ落ち、十分に評価されなかった作品や、批評の機会を待つ現代の作品に光をあてる一方、すでに評価が定まった近代の作品を、新たな、いわば「霊性の尺度」でもって測りなおすことにより、それらがもつ豊かな力を再発見、再認識する試みです。】

【出品作家：円空、出口なお、出口王仁三郎、藤井達吉、萬鐵五郎、秦テラ、高島野十郎、牧島如鳩、古賀春江、河野通勢、村山槐多、宮沢賢治、橋本平八、岡本天明、長安右衛門、関根正二、岡本太郎、高橋忠彌、三輪田俊助、金井南龍、佐藤溪、横尾龍彦、草間彌生、平野杏子、若林奮、八島正明、横尾忠則、芥川麟太郎、馬場まり子、藤山ハシ、石野守一、齋藤隆、真島直子、内田あくり、黒川弘毅、舟越直木、宮川隆、O JUN、藤白尊、赤木仁、上田葉介、三輪洗旗、黒須信雄、橋本倫、佐々木誠、石塚雅子、三宅一樹、吉原航平、庄司朝美、中園孔二、花沢忍】



01.



02.



03.



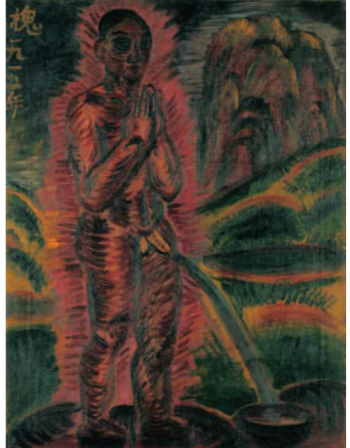
04.



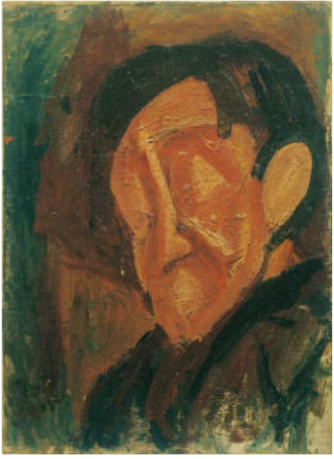
05.



06.



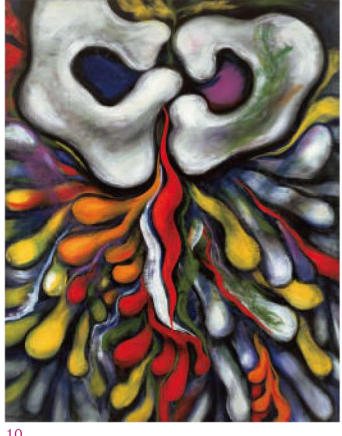
07.



08.



09.



10.



11.

01.石塚雅子《迦陵頻伽》(2014年) 作家蔵 [前期展示] / 02.若林奮《1998.12.18》(1998年) 足利市立美術館蔵 [後期展示] photo:富野博則 / 03.金井南龍《此の国》(1969年) さすら蔵 / 04.舟越直木《ブルーアイライン》(2012年) 岩手県立美術館 [後期展示] / 05.円空《十一面観音菩薩立像》(江戸時代) 林泉寺(碧南市藤井達吉現代美術館寄託) / 06.三宅一樹《root1》(上九沢八坂神社御神木) (2011年) 作家蔵 photo:Satoshi Nagare / 07.村山槐多《尿する裸僧》(1915年) 長野県立美術館蔵 [前期展示] / 08.萬鐵五郎《目のない自画像》(1915年) 岩手県立美術館蔵 / 09.横尾龍彦《龍との闘い》(1988年) 鎌田東二氏蔵 [前期展示] / 10.岡本太郎《千手》(1965年) 川崎市岡本太郎美術館蔵 [後期展示] / 11.関根正一《神の祈り》(1918年) 福島県立美術館蔵 [後期展示]

◎関連事業 ①記念鼎談「顕神の夢」:10.21[土]15:30~16:30 / 講師:鎌田東二(京大名誉教授・本展監修者)、土方明司(川崎市岡本太郎美術館館長・本展提案者)、江尻潔(足利市立美術館次長・本展提案者) / 定員:100名 / 参加無料(要観覧券) ②ワークショップ「木を見つめる」:12.2[土]10:00~14:30 / 定員:15名(小学5年生~一般対象) / 講師:三宅一樹(彫刻家・本展出品作家) / 要申込(詳細は当館ウェブサイトをご確認ください) ③学芸員解説:11.18[土]、12.16[土]各14:30~15:00 / 講師:当館学芸員 / 参加無料(要観覧券)

◎交通案内:【JRバス】松山から70分(ほぼ2時間毎、土・日・祝運休あり)。予讃線松山駅から久万高原行「久万中学校前」下車徒歩約10分 / 【車】松山市内から国道33号線で約50分、高知市内から約2時間。松山自動車道松山ICから国道33号線を高知方面へ約30分、久万中学校前交差点を左折、県道12号線(西条久万線)を0.8km東進、右側 ◎駐車場45台(無料)

町立久万美術館 Kuma Museum of Art  
 〒791-1205 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2番耕地1442-7  
 Tel.0892-21-2881 Fax.0892-21-1954 <https://www.kumakogen.jp/site/muse/>

